

あなたとつながる最上町議会

議会だより

9月
定例議会

No.174
2021年10月28日発行



前森高原に新たな陶芸の息吹

今年度から地域おこし協力隊に着任された2人が
自然ふれあい館を新たに「カムロ窯」として生まれ変わらせました！
2人の想いは、裏表紙の「わたしの想い」をご覧ください。

新たな議会構成が決まる!!

この度、任期が2年過ぎ、最上町議会の構成が大きく変わりました。新たな委員長と構成委員の方に意気込みを聞いてみました。

総務文教常任委員会 総務課・まちづくり推進室・教育委員会 町民税務課・会計課に関わる事業の調査研究



総務文教常任委員会
橋本委員長

尾形副委員長

構成する議員や関係する課の皆さんと共に負の財産を残さないようにしていきます。

産業厚生常任委員会 建設課・農林課・町立病院・健康福祉課 交流促進課に関わる事業の調査研究



産業厚生常任委員会
佐澤委員長

宮本副委員長

町の産業振興並びに医療・福祉の課題解決に、所管課と連携を図り進めて参ります。

消防委員 消防団の運営や方針の協議



菅 孝

消防を引退してから20年以上たちました。新たな気持ちで防災に尽力したいと思います。



山田 則雄

消防員の日夜の任務が町民の生命を守っていると知りました。

議会運営委員会 定例会など議会運営の日程調整や請願、陳情などの 取り扱い



議会運営委員会
小林委員長

大沼副委員長

皆様の助言をいただきながら、円滑な議会運営をがんばってまいります。

広報編集委員会 年4回の議会だよりを編集・発行



広報編集委員会
宮本委員長

小林副委員長

議会広報という役割を意識しながら、広報編集委員が一丸となり「読みたくなる議会だより」を創っていききたいと思います！

最上広域市町村圏事務組合議会 議員



伊藤 一雄



宮本 浩

最上8市町村で行うゴミ処理、し尿処理や広域消防などの事業を審議

最上8市町村で共同管理している施設や事業の現状と課題を把握しながら、責務を果たせるように努めていきます。



議長
伊藤 一雄

構成が変わっても町民からの声を聞いて職責を全うしてまいります。



副議長
菅 柁悦

みんなと仲良くしながら、最上町のよりよい議会チームを作って参ります。



監査委員
佐藤 義男

予算がしっかりと執行されているかどうかきちんと見届けて参ります。

9月定例会

会期：9月7日(火)～17日(金)まで

令和2年度
各会計決算の認定
11件
全会一致

令和3年度
人事案件
人権擁護・教育・消防委員
10件

条例の設定・制定
デジタル改革・保育料等
5件

基本構想・過疎計画の制定・策定
5次基本構想
2件

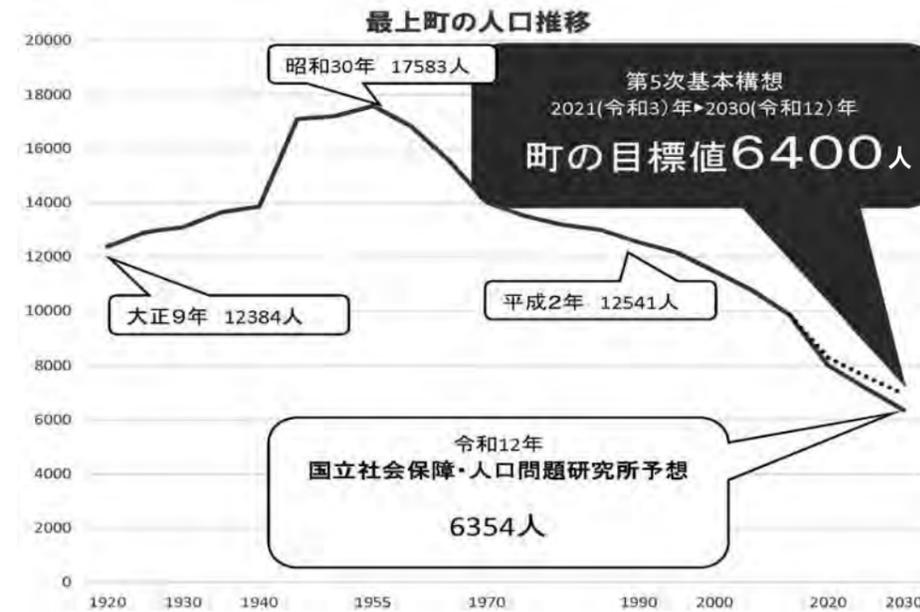
補正予算
セミナーハウス・お湯トピア
8件

発議
米価・豪雪・コロナ禍
3件

計37件
全会一致
原案どおり可決

第5次最上町基本構想 2021▶2030

どうなる？ 10年後の最上町 常にチェックする姿勢を忘れずに!!



転職なき移住を推進

問 人口が増えていく政策が大事では？

答 少子高齢化に伴う人口減少が今後も続く中、若い世代が安心して働き子育てできる環境づくりと移住・定住人口を増やす取り組みに力を入れ、「転職なき移住」政策なども取り入れながら10年後の目標人口を6,400人に設定しました。

可視化・数値化

問 予算と総合計画、決算と総合計画が結びつく考えで取り組んで作成しているのか？

答 機構改革を行い、総合計画における各施策・事業に取り組むための予算編成を行い、可視化・数値化してまいります。また、決算では事業評価と成果を検証しながら必要な見直しを行ってまいります。

赤倉お湯トピアもがみ

問 消防施設の改修費193万3千円の使い道は？

うべき事業と考えますので、今後は県と各市町村が一丸となり国に提案、要望していきます。



▲活用が始まる「赤倉お湯トピアもがみ」

人事案件

□人権擁護委員

(令和4年1月1日～6年12月31日)
寺崎 靖利〔志茂〕

□教育委員会委員

(令和3年10月1日～7年9月30日)
明石 二三江〔前森〕

□消防委員

(令和3年10月1日～5年9月30日)
山田 則雄〔堺田〕
菅 孝〔東法田〕
富澤 秀好〔本城〕
二戸 孝芳〔大堀〕
野口 繁弥〔明神〕
須貝 英幸〔十日町〕
田宮 秀記〔向町〕
中村 尚仁〔新田〕

最上寮セミナーハウス

問 セミナーハウスの浴室の修繕内容は？

答 これまで一つの浴室を時間帯で分けて使っていました。老朽化した男女それぞれの浴室を改修し、ボイラーの更新を行い、シャワー等も新しくします。

給食センター

問 給食センターの現状とこれからは？

答 担ってもらっていた米飯は現在、鶴岡市藤島の業者から送り届けてもらっています。今後は約800食の給食のうち、アレルギー対応食について特別な隔離された調理室で対応していき、米飯を直営で行うよう増築の計画です。

瀬見温泉せみの湯

問 一般管理修繕費の内容は？

答 維持修繕費の48万9千円は、浄化槽の汚泥ポンプ4基の交換費用となります。60℃台の源泉が流入する状況を改善しながら、運転してきましたが、利用7年目を迎え、能力低下がみられるため、交換を行っていくものです。

問 日帰り一般客への開放はどうなっているのか？

答 今年5月の段階ではコロナ感染状況も一定の落ち着きが現れたため、施設管理を有理化しながら一般開放を目指し、予算の確保も行って参りました。その後、状況が一変し感染が拡大したために、今もって一般開放には至っていない状況です。

保育料段階的無償化

問 段階的に保育料を無償化するという事だが今後の見通しは？

答 今回の事業は、県と市町村が2分の1ずつ費用を負担して未満児の保育料を段階的に無償化するというものです。県は今後5年間、この事業継続を推進していくという事ですが、保育料の完全無償化は最終的に国が行



▼子どもの成長

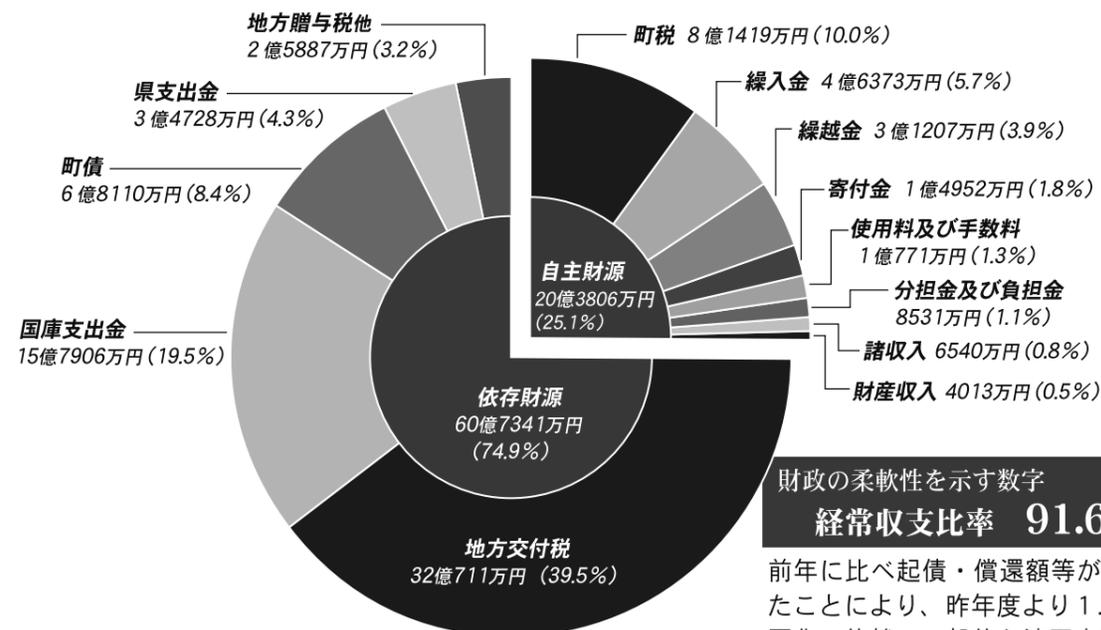


▲子どもは宝

新型コロナウイルス感染症によって生活が激変 今後さらに緊張感をもった予算執行を望む!!

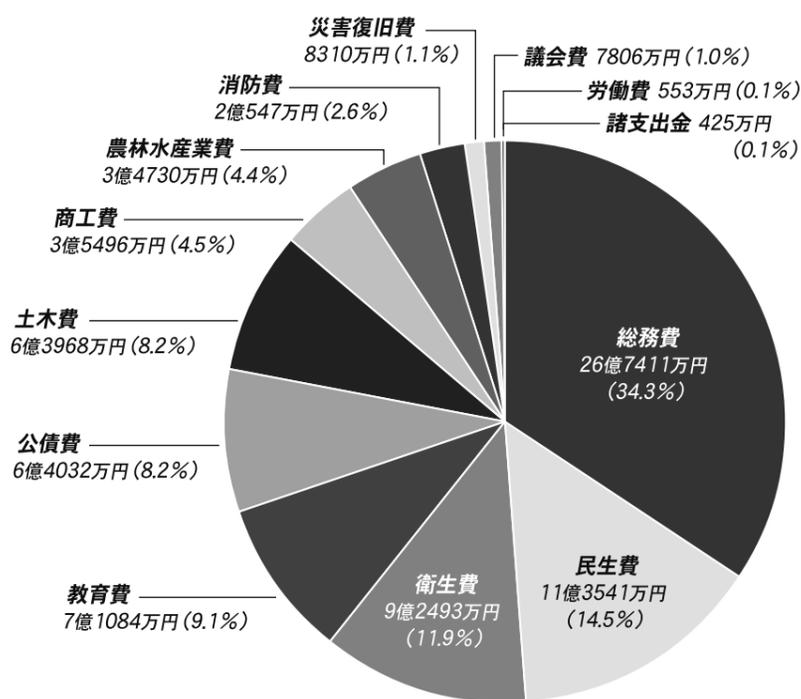
■一般会計 決算額

歳入 81億1147万円



財政の柔軟性を示す数字
経常収支比率 **91.6%**

前年に比べ起債・償還額等が増えたことにより、昨年度より1.1%悪化。依然、一般的な適正水準70~80%を大きく上回っている。



歳出 78億396万円

災害などの緊急時、柔軟に使える貯金「財政調整基金」は、10億3000万円と過去最高を更新。

さらに、将来を見据えた公共施設等の解体などに使う基金として新たに「公共施設等適正管理基金」を3000万円積立。

■新型コロナウイルス感染症臨時交付金

交付額 **3億4671万円**

※次年度、繰り越し分含む

交付金の使い道

経済・生活支援 36事業 ▶ 2億1087万円(60.8%)

主な事業

- 経営継続支援金事業 ▶ 3005万円
- プレミアム商品券事業 ▶ 2742万円
- 宿泊飲食業等緊急支援給付金事業 ▶ 2463万円
- 中小企業緊急災害対策利子補給事業 ▶ 1760万円
- 子育て支援給付事業 ▶ 1126万円



感染予防対策 30事業 ▶ 1億3584万円(39.2%)

主な事業

- GIGAスクール端末導入事業 ▶ 2540万円
- 網戸・空調設備設置事業 ▶ 1960万円
- 最上病院特別会計へ繰り出し ▶ 1306万円
- スクールバス購入事業 ▶ 1219万円
- 避難所整備事業 ▶ 933万円

■特別会計 決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	10億9716万円	10億2069万円
後期高齢者医療	1億587万円	1億472万円
介護保険	12億4182万円	11億5887万円
最上病院	11億3827万円	12億2417万円
介護老人保健施設	3億3748万円	3億6672万円
水道	3億3960万円	4億6110万円
瀬見温泉	1379万円	1330万円
農業集落排水	2120万円	2065万円
下水道	2億2926万円	2億1895万円
浄化槽	8361万円	8153万円

令和2年度 決算特別委員会

経常収支比率悪化

問 経常収支比率が91.6%に悪化、今後の政策課題の対応策は？

答 本来、比率は80%台がより望ましいものとされています。そうした中当町では起債の償還額が年々増えていることが、比率を押し上げてしまっている主要因となっています。起債の償還額のピークは令和4年と見込んでいるため、今後は投資事業においても、事業の見極め、取り組みの平準化等を通じて、経常収支比率の改善を図って参りたいと考えます。

健全財政と外部委託

問 健全財政を考えた時に、外部委託費用が多いのではないかと？

答 予算決定額に占める委託料の金額は、全体の1割を占めており、大きな比重に至っています。やはり財政運営の健全化を目指す上では、委託料の縮減も目指していく必要があります。委託先には町内事業所も多く含まれることから、まちづくりの連携の側面もありますので、その点は重視して行きたいと考えます。

人口減少の評価

問 出生数、死亡者数の現状から人口減少の自己評価は？

答 コロナ禍で出生数が全国的に減少している状況です。移住・定住の積極的な取り組みに加え、人材育成や健康寿命の延伸を推進し、生産年齢人口の急激な減少を止めたといえます。

持続可能な水田維持

問 米の需給調整が行われ、持続可能な水田の維持と発展に向けた町の考えは？

答 令和2年度はコロナ禍にあり米の在庫も多く令和3年度は政府が見通した全国の主食用米の生産量693万トンの達成に向け転作作物への誘導や主食用米を飼料用米に転換するなどして需要を調整してきましたが、今年の「はえぬき」1俵当たりの仮渡額は9300円と、昨年比マイナス2400円で21%減、一昨年と比べマイナス4200円の31%減となり、米農家の経営に多大な影響を与えています。



▼豊かな田園風景を次世代へ

の支援や、基盤整備はもとより先端技術を活用した高効率や、消費者とつながった顔の見える販売体制の構築を図る必要があると考えます。

人材育成支援

問 もがみ人材育成支援事業補助金の内容は？

答 実績は交付件数12件、101万2千円です。平成28年に事業化し、今まで150名の支援実績があります。労働者の技能向上による人材育成を図るために支援しています。特殊車両免許取得や介護福祉士、ドローンの資格取得などが多くなっています。

最上駅T字路

問 最上駅のT字路には横断歩道がなく、カラー舗装での注意喚起を行っているが、横断歩道の設置は出来ないのか？

答 横断歩道は県公安委員会でない設置できない為、町としては自主規制を含めた注意喚起としてカラー舗装の対応をしています。最上駅前T字路に関しては、カラー舗装が薄くなってきたので早期に対応していきます。



▲最上駅前にも横断歩道が必要では？

国道47号バイパス化

問 国道47号の道路改良に向けての状況と現在の国・県の考えは？

答 国道47号は重要物流道路に指定されている道路であります。国・県ではダブルネットワークによる国道47号と高規格道路を整備し、災害時でも安心して通行できるように考えております。町でも高規格道路の早期実現に向け、石巻新庄道路同盟会の要望活動以外に町独自の活動を行っていきたいと考えております。

消防団出動実績

問 消防団の出動の実績は？

答 令和2年度における火災を始め、各種災害の発生状況としては、全17

放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブの現状と課題は？

答 放課後児童クラブ事業につきましては、現在NPO法人に業務委託し、町内2箇所で開催を行っております。

現在のところ、希望する児童全員から利用いただいております。利用区分の見直し等も行いながら適正な学童運営に努めてお



▲向町地区 放課後児童クラブ

りませんが、今後の利用者の推移・動向等も見ながら、開設場所、指導員体制など協議して参りたいと考えます。

放課後等、児童に適切な遊びと生活の場を提供する児童の必要性・重要性を認識し、今後も更なる事業推進に努めて参ります。

問 他県で誹謗中傷の書き込みがあったと報道されていたが、教育上の問題として管理体制を十分に取られているのか？

答 報道された事件のようなことが起きないよう学校で使用している教育用コンピュータの管理については安全な運用を確認しています。危険なサイトには入れないよう規制をかけていますし、児童生徒がどんな利用をしているかについて監視できる仕組みを導入しています。

また、教育用コンピュータの使用と共にIT社会におけるマナーやモラルをしっかり教えていくことにしています。

問 旧小学校の備品を町民向けに活用する考えは？

答 対応はこれからですが施設の活用と合わせ備品等についても地域の方々に活用していただくよう、今後検討を進めて参ります。

問 平成16年の国体とは全く違ってくる。町一丸となって全国から集う人に応えるため町の対応は？

答 平成16年に開催した「山形もがみ国体」の際はスキー場のグレンデヤリフト、駐車場など大規模な整備を行い全国からの選手団を迎えました。令和6年2月に向け、当時の施設の改修を行うと共に

問 在宅復帰率と待機者の状況は？

答 在宅復帰率につきましては高い状況とは言えません。生活様式が多様化している中、見守りや少しだけ生活のサポートをしていただけるような環境を整えていければと考えます。

待機者については、現在5〜6人となっています。

問 せみの湯利用者状況と基金を増やす手立は？

答 今年度も昨年に引き続き、利用を可能としているのは地域の方々はじめカードキーをお持ちの方のみとなっております。については、1回ごとの利用



答 デザインの変更は現在はおいておりません。今後、現在のデザインの由来など町報などで紹介して参りたいと思います。

問 蓋のデザインを今後変えていく考えは？

料をお支払い頂く一般の方々の利用が無いことから、1万명에及ぶ利用者の減少状況となっております。そのことが基金の取り崩しに直結しています。1日も早いコロナ感染状況の収束をみながら、通常運営に戻していく事が一義的に重要となるものです。



▲平成16年に行われた「山形もがみ国体」

に、これから町内各団体に呼びかけ、町民挙げてすばらしい大会にできるような準備を努めてまいります。

問 町職員の採用について、町内に居住可能な方という要件を入れるべきでは？

答 当町では採用試験に臨む町外在住の方には、出来るだけ町に住んで頂きたい旨の話をしております。

ます。しかしながら、専門職など有益な人材を広く求める観点から、一律の町内居住を求めているりません。

問 看護師育成と人材確保に向けての町の対策は？

答 看護師にかぎらず医療従事者の確保は極めて困難な状況にあります。あらゆる機会をとらえて医療学校等に募集の働きかけをしておりますが、コロナ禍ということもあり積極的な動きが出来ておりません。分かりやすいホームページの構築等充実を図りながら進めて参ります。

問 医療従事者の育成修学資金貸付金の内容は？

委員長 橋本 正

認定第1号から認定11号までの11議案を9月13日から15日までの3日間に亘り、延べ190回を越える質疑がかわされました。100万人交流を提唱している

県内スキー場では善戦。前年度よりも収入、入り込み数が増加している、との事。

我が町。コロナ禍で交流人口の減少による入湯税の減少など、自主財源の確保が必須であります。「各課連携して健全財政を心掛け乗り越えていく」と

有害鳥獣対策の実績として熊39頭、イノシシ125頭駆除。水田やソバ畑で300万円くらいの損害が出ている。

の心強い答弁がありました。地域おこし協力隊は現在3名の方々が活動中、子供達に学校で台湾の紹介、

全国的にネットでのイジメが起きてくる。規制への質問に、町で整備したパソコンはセキュリティが徹底しているのでネットでのイジメは無かった。

海外の学校の様子を教え国際理解に貢献している。陶芸の2人は前森高原に陶芸館をオープンし、町内外に最上町を発信して行きたいとの事。人口減少をみた時に移住・定住を受け入れて前に進んで行くには、どの様にどのタイミングで情報を発信していくのか？ホームページ、ガイドブック等を作り更に充実していく、との答弁。

また町立病院事業特別会計では人材育成・人材確保の点で理学療法士・作業療法士は確保できた。薬剤師、医療ソーシャルワーカーも今後の医療体制には欠かせない人材との事。

に、これから町内各団体に呼びかけ、町民挙げてすばらしい大会にできるような準備を努めてまいります。

全11議案、全員賛成をもって採択されました。決算特別委員会で審議された事、町民の幸せの為、令和4年度の予算編成に反映されます事を願って報告いたします。



町政を問う

5 議員が一般質問



※掲載している文章は抜粋したものです 詳しくは議会中継の議員名から選りご覧下さい

肢体不自由な幼児のリハビリ支援は？



小林 守 議員

町長答弁 専門医師不在のため不可能な現状

質問 子育て大圏最上町の安全安心な環境づくりについて、現在町内在住の子育て世代が直面しているリハビリの課題を解決することが、定住政策そのものと考えます。具体的には、専門的な知識を持つ理学療法士と作業療法士が高齢者向けのものを実施していますが、その知見を肢体不自由な幼児のために発揮できないか、と考えます。安心して最上町で子育て出来る環境を構築できるか。これからの子育てを目指



▲ウェルネスプラザ内のリハビリ室

答弁 最上病院に理学・作業療法士が関わることで、子育ての安全安心な環境づくりにつながるのではないかという点については、あくまで成人の方に対して専門の医師の指示のもとに実施されることから困難な現状にあります。

す親御さんに、あるいは移住を考えている子育て世代への重要なメッセージと捉えていますが、町長の所見は？



▲懸念される風力発電

答弁 他市町村の事例にはなりますが、候補地において住民の反対運動により白紙撤回されるなど、自然や景観との共存において様々な問題点があるのも事実です。開発は喜ばしいことではありますが、町民との合意形成なくしては健全な開発はないものと考えております。

質問

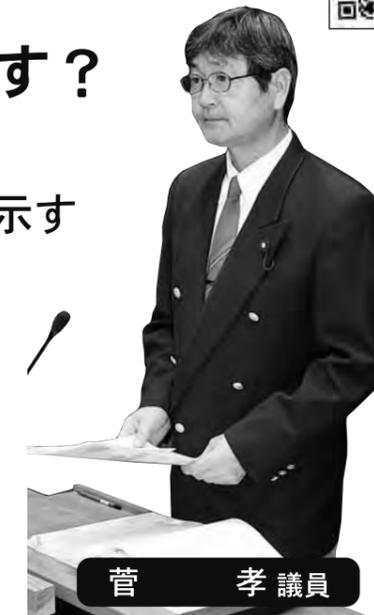
第5次総合計画の町民目線のエネルギー政策についての風力発電の考え方は？

再生可能エネルギーへの取り組みは？

町長答弁 町民の同意なしでは進められない

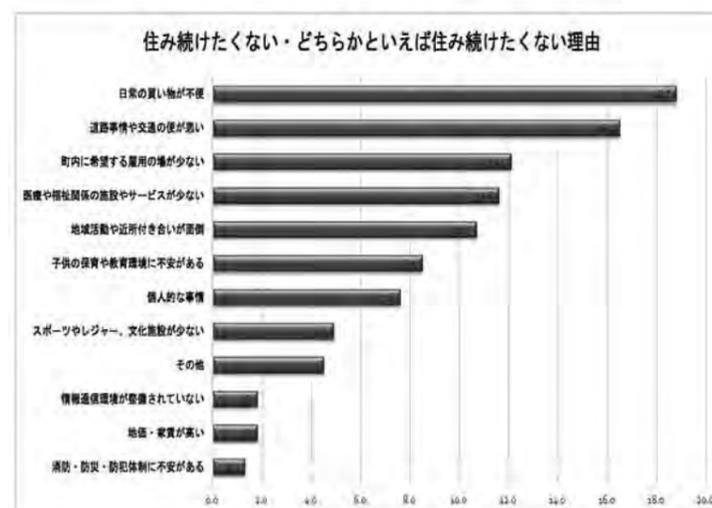
最上町の将来像をどのように示す？

町長答弁 第5次総合計画にて基本的な方向性と施策を示す



菅 孝 議員

質問 第5次総合計画作成時のアンケートで、最上町に住み続けたくない理由として日常の買い物の不便さ、道路事情や交通の便が悪い、町内に希望する雇用の場が少ない、といった町民の素朴な要望にどう答えて行くのか？



答弁 アンケートの結果を踏まえ重点政策を整理し、実施計画を進めて行くと共に、評価検証をしながら必要な見直しを行ってまいります。また、アンケートに基づいた課題を、どのように解決していくのか、広く町民の意見をいただく機会を設け、広報誌等でも取り上げながら進めて

参ります。人口減少・少子高齢化は今後も確実に続くものと予想され、出生率の低下や若者の町外流出といった状況に対応するには、働く場の確保と子育てしやすい環境づくりなど、住みたいと思える仕組みづくりと、生きがいを持って活躍できる機会の創出が必要です。子供から高齢者まで、誰もが住みやすい町を作ることで、町外から人が訪れ交流が活発化し、移住定住を促進させていくものと考えます。



▲最上の美しい自然

国際的なSDGsの理念のもと、美しい自然環境を守り、町民一人一人が明日への希望を抱き、生き生きと安心して暮らせる、豊かな町に成長していけるよう、町民と共に着実な計画推進に一層力を尽くして参ります。

外国人の技能実習実態は？



山田 則雄 議員

町長答弁 本年4月1日現在、外国人技能実習生は39名

質問 新聞・テレビで騒がれた諸外国からの技能研修者達の苦悩は、募集する日本の条件と応募した諸国の皆さんの感じる、実態やギャップの不安が苦悩になっていないか考えることから次のことを伺いたい。

- ① 国毎に何人来ているのか？
- ② どういう職種についているのか？
- ③ 町として生活に関する支援は？
- ④ コロナ対策は？
- ⑤ 当町の対応が将来の実習生希望、観光、働

き等、国際交流に結びつく事にならないか？

⑥ 心地よい最上町での体験が将来に結びつかないか？

答弁

① 4月1日現在実習生は39名、

中国女性8名、ベトナム女性24名、フィリピン男性4名・女性7名です。

② 職種は製造業26名、観光業9名、建設従事者4名です。

③ 生活に関わる支援は、企業によって自社の寮使用や、自社空き地を貸与し野菜作り等に利用されています。

④ 「山形県コロナ対策認証制度」を活用し、全ての実習生にワクチン予防接種券を送付しています。

⑤ 将来、コロナ終息後の観光政策の大きな目玉となるのは、海外からの観光客との交流事業をどう展開して行くかであります。



▲町にも多くの技能実習生が働いています



▲休日には家庭菜園を楽しむ

⑥ コロナ前には、山形県に39万人の外国人旅行者が訪れており、今後も技能実習生は、増大するものと想定されます。町民との交流の場を設ける施策を講じて参りたいと考えております。

水害、土砂災害の対応は？



岸 錦也 議員

町長答弁 各種災害に迅速かつ円滑に対応してまいります

質問 西日本は豪雨に見舞われ住宅被害が多数発生しました。大気が川のように一定の所に留まる線状降水帯が形成され甚大な被害を発生させました。最上町にも停滞することが予想されます。市町村が出す最高レベルの「避難情報」の中で緊急安全確保の発令も懸念されます。町長に伺います。

- ① 災害時の現地の確認、被災者の安否捜索などの為にドローン配備への考えは？
- ② 土石流特別警戒地域、急傾斜特別警戒地域に



▲町独自で配備すべきではないか？

ついて早めの指示、住民の避難行動を迅速に行う施策を伺います。

答弁

① ドローンの映像からは被害の状況が手に取るように分かり性能の高さを感じます。即時配備するのではなく、民間事業者との連携を基本としていきます。

② 高齢者や避難に支援を要する方への対応については、自主防災会との連携をはじめ、区長や民生児童委員の方々とも情報共有を図っております。

第5波コロナ対策は？

町長答弁

ワクチン接種を早期に完了できるよう取り組む

質問

新型コロナウイルス緊急事態宣言が21都道府県に出されまん延防止等重点措置も広がり、県も全域でレベル4へ引き上げています。デルタ株L425Rが96%検出され、家庭内の感染が広がり、乳児・小中高生の感染が心配されます。町長に伺います。

- ① 4人家族の1人が陽性になり家族が濃厚接触者になった時の子供達への学校の対応は？
- ② 教員、保育教員のワクチンの接種状況は？
- ③ 接種を希望する妊婦とその配偶者への接種状況は？

答弁

① 保護者の1人が感染し有症状の場合は入院療養となり家族が濃厚接触者の場合は保健所の指示のもと、自宅での待機を求められるものと思います。

② 町外在住の教職員についてはは住所地での接種をお願いしたところです。支援員、学校関係者、幼児施設等の職員については関係者全員が8月25日までに2回目の接種を完了しております。

③ 対象者は28人のうち接種予約も含めた接種見込が17人となっております。対象人数の6割の接種が見込まれています。

常任委員会で新たな調査テーマ決まる

◇総務文教常任委員会 委員長 橋本 正

「町有財産等の有効な維持管理について」

「公共施設等総合計画」は、将来に大きな影響を与えることから、議会・議員が関わり町民に負の財産を残さない手立てを尽くすため、町内・先進地の調査研究、検証をするものである。

◇産業厚生常任委員会 委員長 佐澤 浩

「雇用創出に向けた、産業振興について」

町内にある企業や事業者が抱える課題の実態を把握し、持続して雇用を創出していくための支援策や新たな企業誘致、起業支援など、町の産業振興につながる取り組みを研究調査するものである。

請願・陳情 皆さんからの声を慎重に審議いたしました

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
請願 米の需給調整に関する請願	もがみ中央農業協同組合 代表理事組合長 安食 賢一	菅 孝	産業厚生 常任委員会	採択 下記、議員発議へ

【請願理由】 コロナ禍により米の在庫が、令和3年6月末で219万トン(適正水準180万トン)と大幅に超過している。よってコロナ禍による予期せぬ需要減に対して、政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施や対策の強化・拡充すること。

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
陳情 コロナウイルス感染症に関する経済支援等について	瀬見温泉旅館組合長 高橋 昌裕 赤倉温泉観光協会旅館部会長 石山 崇人 他13名		総務文教 産業厚生 両常任委員会	採択

【陳情理由】 昨年度は、公的な助成や支援、減免処置や納期の延長などで、何とか持ちこたえることが出来ましたが、今年度に入り予防接種やワクチン等のコロナ対策に重点がおかれ、売上げが減少した企業への支援が少なくなっている。昨年度同様、また、それ以上の支援をお願いします。

議員発議 意見書を関係省庁等に提出しました

件名	意見書内容	措置
米の需給調整に関して	コロナ禍による予期せぬ需要減に対して、政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施、さらには倉庫の新設や低温庫の改修にかかる支援等、秋に向けた出口対策を強化・拡充すること。	採択
豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関して	豪雪地帯を取り巻く状況が変化する中で、安全・安心を確保するため、これまでの支援措置に加え、迅速な対応を可能にする支援策が必要である。	採択
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方財源の充実に関して	地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現と共に、財政需要の増が見込まれる。よって地方財源の充実が不可欠である。	採択

職員組織のコミュニケーションは？

町長答弁 最上町らしい
まちづくりに向けて取り組む



佐澤 浩 議員

質問 平時に、どんな組織と、人の在り方が、求められるのか。当然ながら、必要な業務量に応じた、人員の配置と、変化に対応でき、柔軟な組織変更ができる、マネジメント力です。

- ・ 仕事の位置づけ
- ・ 承認のあるコミュニケーション
- ・ 感情を話せる職場

これら3つを重ねることとで、困難な環境に適応し、生き抜く力を高め、「風通しの良い職場」になると考えるが、町長の考えを伺います。

答弁 議員からは、3つの側面から踏まえるべき方向性について示していただきました。部門を分けることが、縦割り故の意思疎通の難しさや、連携不足の傾向につながりかねない点であることは、否めないものが有ると捉えます。

第七次行財政改革プランには、加速する人口減少に対応するため、例え職員の減少があっても、円滑に業務を推進するため、機構改革の必要性も示されております。

現在、来期に向けて、部門間の連携をさらに取り易くするために、機構改革を検討しております。そのことよって、各課連携がより一層進むよう組織体制の構築に取り組んで参ります。

また、業務は、適正適切に行われて当然であり、誠心誠意、対応しなければなりません。

議員一人ひとりが互いに信頼と協力を旨としながら自信と誇りを持って業務に真剣に向き合う姿勢が大切であると考えております。



▲若手職員がまちづくりに関して語り合う

議員言われる通り、日頃から気軽に話せる「風通しの良い」職場環境を創ることは、今後の機構改革にあつてはより重要と考へます。

職員一人ひとりが、丸となって最上町らしいまちづくりに向けて取り組みを強化して参ります。

議会の主な動き

※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

7月2日 新庄北高「最上校振興会」総会

令和2年度の支援内容、新たに立ち上がった「魅力化協議会」の活動報告と令和3年度の活動計画、今後の検討課題について協議しました。



8月10日 議会改革特別委員会

「これからの最上町議会・議員の在り方を考える」というテーマで、議員定数や議員報酬等について話し合いました。来年の報告に向けて、さらに議論を重ねていきます。



9月21日 最上町新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

国、県内の感染状況や町が行う感染症の予防対策、生活・経済対策について報告を受け、協議しました。



”わたしの想い”



かわわだ しゅうたろう
川和田 宗太郎さん

あきもと かなこ
秋元 哉子さん

私達は、最上町地域おこし協力隊の川和田宗太郎と秋元哉子です。

現在、前森ふれあい陶芸館を活用しながら、新たな工芸品作りを2人で協力して行っています。今年の9月1日に「カム口窯」としてリニューアルオープンし、陶器の販売や陶芸体験をしています。前森高原の観光施設として最上町の

PRに繋がっていきたいです。是非一度リニューアルオープンした「カム口窯」に足を運んでみてください！

また、今までは施設のリニューアルオープンに向けた準備でワークシヨップなどが出来ませんでした。これから陶芸を通して最上町の方々と交流していきたいと思っています。

第一弾の企画としては抹茶碗の制作体験を考えていますので、興味のある方は是非参加して頂きたいです。

どうぞ、これからもよろしくお願ひ致します！

議会傍聴へのご案内

次回の定例会は **12月 定例会**です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数 **のべ 1,292回**

議会傍聴者数 **のべ 14人**でした



QRコード

傍聴席へ上がる階段が暗く危険でしたが、照明を設置しています。皆様の傍聴をお待ちしております。

過去の定例会、一般質問も町のHPからご覧になれます

編集後記

9月から新たな議会構成に変わり、この度、編集委員長という役目を頂きました。気づけば、議会広報誌に携わって7年目になります。初めは議会広報誌の役割というものを深くは理解しておらず、自分達で一から行うページ構成や文章作成、写真選び等の作業に、ただ負担を感じていました。しかし、広報編集を行っていく中で、あらためて定例会を俯瞰して見ることで、自分の質問を振り返る時間になりました。議会広報誌としての役割は、町民の代表として議会でのチェック機能「見える化」するだけでなく町が良くなる為に、今は何が必要で何をすべきなのか、課題を浮き彫りにして、町民がまちづくりに対して「自分事」として考える機会を創っていくことも出来ればと思います。新たな広報編集委員を宜しくお願い致します。

(宮本 浩)

【発行責任者】

議長 伊藤 一雄

【広報編集委員会】

委員長 宮本 浩

副委員長 小林 守

委員 佐澤 浩

菅 孝

岸 錦也

山田 則雄